



当院での肝腫瘍への取り組み

当院での肝腫瘍への取り組み

消化器内科 医長 南 知宏

【肝腫瘍とは】

肝臓は“沈黙の臓器”と呼ばれる位、何らかの異常があったとしても症状はすぐには現れません。したがって腫瘍があったとしても、健診あるいは慢性肝炎や肝硬変の定期検査の際に発見されることがほとんどです。発見された肝腫瘍が経過観察でよいものか、治療が必要なのか判断する必要があります。

また、一口に肝腫瘍といっても良性腫瘍と悪性腫瘍があります。その各々が上皮性、非上皮性に分類され、肝細胞癌などの悪性疾患との鑑別が問題になることがあります（表1）。

悪性腫瘍は原発性肝癌（肝細胞癌、肝内胆管細胞癌）、転移性肝癌や悪性リンパ腫などが含まれます。それらを鑑別するために、当院では採血（腫瘍マーカー）や腹部エコー検査（sonazoid®を用いた造影エコー含む）、造影CT/MRI検査、経皮的肝生検を適宜行っています。造影エコー検査や造影CT/MRI検査は外来で実施しています。

表1 肝腫瘍の組織学的分類

	悪性	良性
原発性	肝細胞癌	肝細胞腺腫
上皮性	胆管細胞癌 胆管嚢胞腺癌	肝内胆管腺腫 肝内胆管嚢胞腺腫
非上皮性	混合型肝癌 肝芽腫、未分化癌 類上皮性血管内皮腫 血管肉腫 未分化肉腫 悪性リンパ腫	血管筋脂肪腫 血管腫
転移性	大腸癌、胃癌、膵癌など	—
腫瘍類似病変	過誤腫、限局性結節性過形成、腺腫様過形成 炎症性偽腫瘍、先天性胆管嚢胞	

肝腫瘍の組織学的分類（WHO分類，1994）より一部抜粋

【経皮的肝生検】

経皮的肝生検は肝障害や肝腫瘍を精査する過程で実際に組織を採取する方法です。

通常は1泊2日の入院で局所麻酔を用いて実施しています。御希望があれば鎮静剤を使用して実施することも可能です。処置時間は20-30分程度で、その後3時間安静となります。採取した組織標本に関しては約1-2週間で結果が出ます。

当院では造影検査施行後に必要に応じて経皮的肝生検を行い、悪性の場合は外科とも協議して治療方針を決定しています。

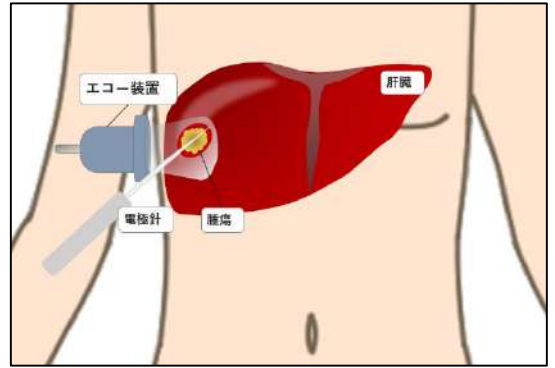
特に肝腫瘍が肝細胞癌であった場合の当院で実施可能な治療の一部をご紹介します。

① ラジオ波焼灼術（Radiofrequency Ablation : RFA）

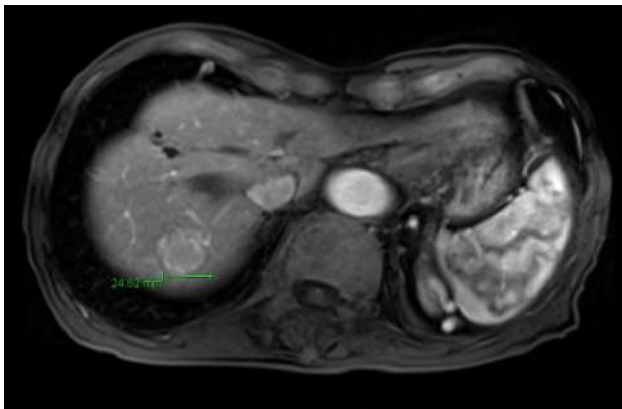
ラジオ波焼灼術は、エコーを用いながら局所麻酔・静脈麻酔下に腫瘍の中に直径1.5ミリの電極針を挿入してラジオ波電流を流し、電極周囲に熱を発生させることでがん細胞を凝固壊死させる治療方法です。

腫瘍の個数にもよりますが、おおよそ1時間程度で処置が完了します。この方法のメリットは患者さんへの侵襲性が低く日常復帰が早いということ、また肝切除と同等の治療成績を有しますが正常肝を温存できることにあります。治療回数に制限はなく腫瘍の部位・大きさ・腹水の有無などから毎回治療方針を決めています。

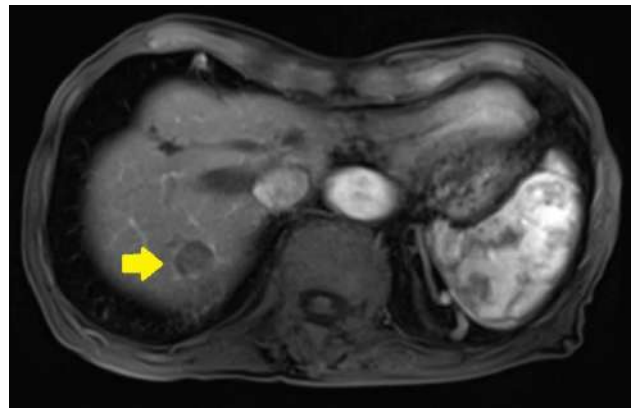
ラジオ波焼灼術の難点として、エコーで描出できない部位や腫瘍を覆う血管が避けられない場合は穿刺できないという点があります。その際は別の治療法をご提示させていただいています。また、適応は「肝臓の悪性腫瘍」となっているため、肝細胞癌以外の悪性腫瘍の転移病変であったとしても肝臓内の病変がコントロールがつかない場合も施行させていただいていることがあります。一部腫瘍では適応がない場合もありますが、そのような状態であれば一度ご相談いただければ幸いです。



センチュリーメディカル（株）提供



治療前の造影MRI（動脈相）：S7 24mm大の早期濃染を有する腫瘤を認めます

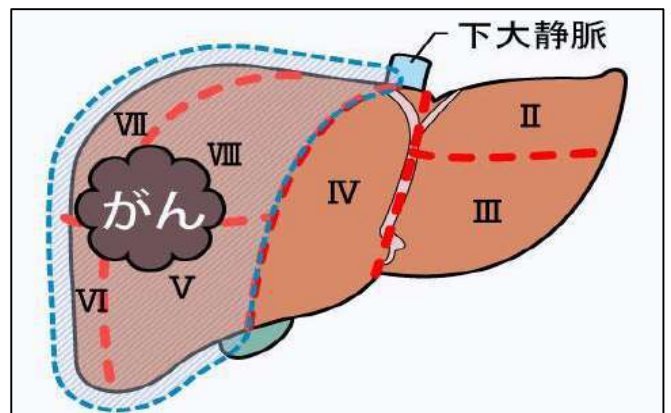


治療1年後の造影MRI（動脈相）：同部に造影効果認めず。他部位にも明らかな再発ありません

② 肝切除

肝細胞癌の治療ガイドライン上では3cm以下3個以下もしくは5cm以下単発の腫瘍とされていますが、それ以外の腫瘍も外科の先生と協議した上で対応しています。

初回治療時は手術が困難であってもカテーテル治療や抗癌剤治療で腫瘍縮小効果が認められれば手術を行い根治を狙うことも可能です。また、当院では開腹以外にも腹腔鏡下肝切除も行っています。

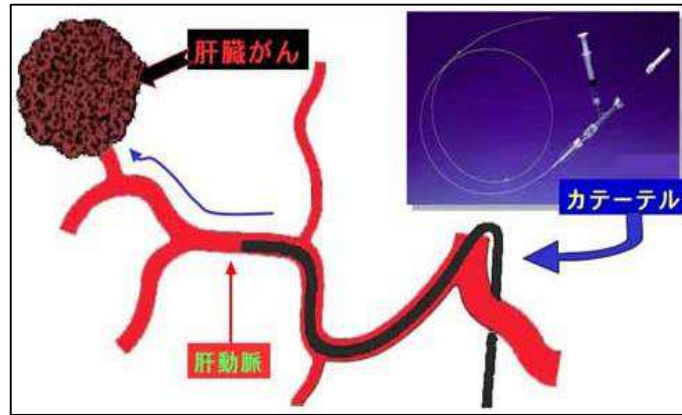


出典：日本消化器外科学会

③ 肝動脈化学塞栓術 (Transcatheter Arterial Chemo Embolization : TACE)

肝動脈化学塞栓療法は、鼠経部の動脈から局所麻酔を用いながらカテーテルを挿入し、肝臓内の腫瘍を栄養する細い動脈までカテーテルを進め、そこで抗癌剤や塞栓物質を注入し、腫瘍細胞を壊死させる方法です。

処置時間は2時間前後で、処置後3時間ほどのベッド上安静を要します。この治療のメリットは腫瘍が巨大であったり、多発している場合でも対応可能であること、処置時に造影することにより事前に判明していなかった腫瘍を診断しその場で処置することができることにあります。



出典：近畿大学病院 消化器内科

逆にデメリットとしては、外科的手術や局所治療と比較すると治療効果が不十分な場合があり、複数回処置が必要になることもあります。他の局所治療などと組み合わせることも可能です。

④ 抗癌剤治療

本邦では分子標的薬Sorafenib（商品名：ネクサバール）が2009年5月に切除不能の肝細胞癌患者に対して保険適応されて以降、以下のように承認され、肝細胞癌に対する化学療法は大きく変化してきました。

first line

2009年5月 分子標的薬Sorafenib（商品名：ネクサバール）

2018年3月 分子標的薬Lenvatinib（商品名：レンビマ）

2020年9月 免疫チェックポイント阻害剤Atezolizumab（商品名：テセントリク）および分子標的薬Bevacizumab（商品名：アバスタチン）併用療法

second line

2017年6月 分子標的薬Regorafenib（商品名：スチバーガ）

2018年12月 分子標的薬Pembrolizumab（キートルーダ）※MSI-Highの場合に限る

2019年6月 免疫チェックポイント阻害薬Ramucirumab（商品名：サイラムザ）

2020年11月 分子標的薬Cabozantinib（商品名：カボメディクス）

特に2020年9月に承認された **Atezolizumab + Bevacizumab 併用療法**は既存の治療法（Sorafenib）と比較して全生存期間の中央値はそれぞれ19.2ヶ月、13.4ヶ月（HR:0.66、95% C.I.:0.52-0.85）、無増悪生存期間はそれぞれ6.9ヶ月、4.3ヶ月（HR:0.65、95% C.I.:0.53-0.81）と有意に延長させました。

（IMbrave150試験、<https://www.roche.com/media/releases/med-cor-2021-01-12>）

全生存期間で「優越性」を証明した初の治療になります。

また、副作用としては高血圧、蛋白尿、免疫関連副作用（間質性肺炎、1型糖尿病、甲状腺機能異常など）がありますが、従来の治療と比較しても食思不振や下痢などは少なく切除不能な肝細胞癌に対するfirst lineの第一選択となっています。

投与時間は初回150分間ですが徐々に短くなり、最終60分間となり外来での投与が可能で、3週間間隔での投与となります。当院でも投与症例を重ねており対応可能ですので、ご検討されている患者さんがおられましたらご相談いただければ幸いです。

さいごに

先生方におかれましては、日常診療の中で肝機能障害や肝腫瘍を診断されることも多いと存じます。当院では各種検査や幅広い処置に対応可能ですのでいつでもご相談いただければ幸いです。

また、大学病院との連携も取れていますので悪性腫瘍に対する治験などもご紹介することも可能ですので、どうぞお気軽にお声がけ下さい。

今月の担当医師



消化器内科 医長 南 知宏(みなみ ともひろ)

【資格】

日本内科学会認定内科医

日本消化器病学会消化器病専門医

日本肝臓学会認定肝臓専門医

難病指定医

医学博士

肝細胞癌の症例検討を
予定しています！

News

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

2022.7月

第29 回病診オープンカンファレンス（消化器内科）

※ Web開催（Zoom）・事前申込制

当院消化器内科にご紹介いただいた患者さんの症例検討

日時：2022年7月21日（木）15：00～16：00

2022.8月

がん診療における漢方の役割

※ ハイブリッド開催・事前申込制

日時：2022年8月5日（金）18：00～19：00

〈皮膚科からのお知らせ〉

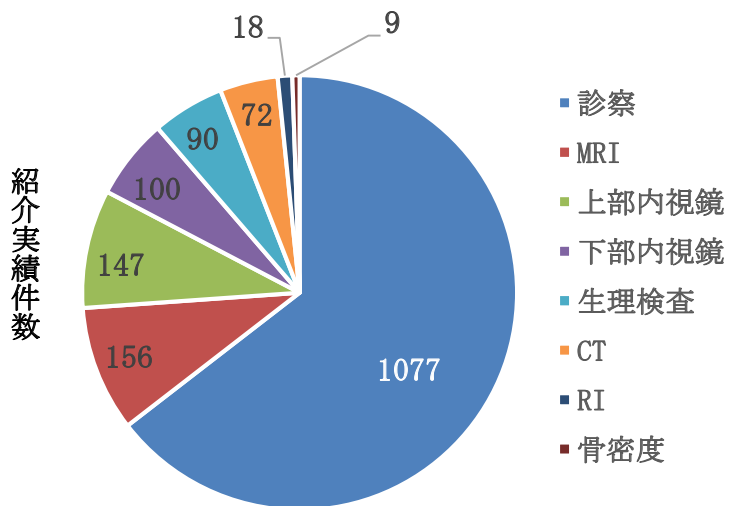
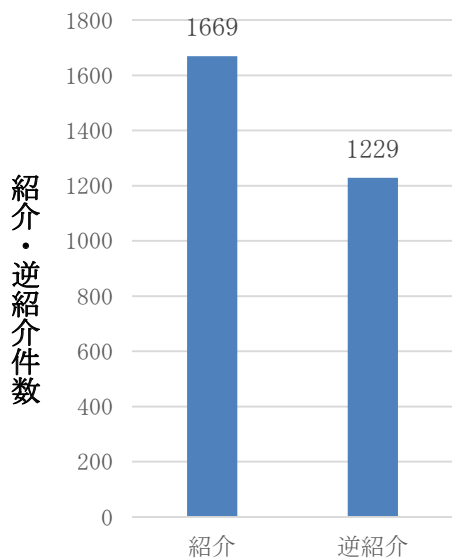
この度、医師の入退職による診療体制変更に伴い、皮膚科外来の受付時間を下記のように変更させていただきます。

ご不便をおかけいたしますがご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

なお、緊急性を伴う場合は、地域医療連携室へご連絡頂ますようお願い致します。

皮膚科外来 受付時間
月曜日～金曜日 8時00分～10時30分

紹介実績 〈2022年5月〉



府中病院
ホームページ



府中病院
facebook



生長会・悠人会キャラクター
にこまる

ねっとわーく Vol.227

発行責任者：院長 竹内 一浩

編集責任者：地域連携部 家口 尚

編集者：地域医療連携室 春名 弾

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu·ki·to·do·ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。